

船舶インシデント調査報告書

令和6年4月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和5年9月2日 04時30分ごろ
発生場所	東京湾浦賀水道航路 第2海堡灯台から真方位315° 1,500m付近 (概位 北緯35° 19.3′ 東経139° 43.8′)
インシデントの概要	プレジャーボートリトルマーメイドは、漂流中、船外機が運転できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年10月3日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート リトルマーメイド、5トン未満（長さ5.41m） 252-18594千葉、個人所有 ガソリン機関、船外機、4サイクル、出力51.5kW、回転数毎分6,300、4気筒、ボア65mm、使用燃料ガソリン、平成4年11月進水
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：波高 約0.5m
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、漂流中、釣り場を移動する目的で船外機の始動を試みたが、セルモーターが回らなくなり、始動できなくなった。 船長は、運航不能と判断して携帯電話で118番通報し、本船は、来援した巡視艇にえい航され、神奈川県横須賀市横須賀港第2区の海上保安部の基地に到着した。 修理会社担当者は、本インシデント後、本船を点検したところ、本船の電源スイッチ（以下「メインスイッチ」という。）の接点に腐食を生じていたことが判明し、セルモーターに通電できなくなり、セルモーターが回らなくなったと判断し、メインスイッチを交換して復旧した。 船長は、令和2年5月ごろに本船を中古で購入し、電気系統の点検整備を行ったことがなかった。
分析	本船は、漂流中、約3年間電気系統の点検整備が行われていない中、メインスイッチの接点に腐食を生じたことから、セルモーターに通電されず、船外機が運転できなくなり、運航不能となったものと考

	えられる。
原因	本インシデントは、本船が、漂泊中、約3年間電気系統の点検整備が行われていない中、メインスイッチの接点に腐食を生じたため、セルモーターに通電されず、船外機が運転できなくなったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	船長は、本インシデント後、メインスイッチ及びバッテリー端子等に通電性が優れたカーボングリスを塗布することとした。 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 船長は、定期的に電気系統を点検整備し、異常があれば不具合のある部品を交換又は修理すること。